

2023 年度国際キャリアフォーラム

「SDGs を仕事にする」とは？～全3回シリーズで考える～ 第3回「多様な関わり方」

質問	回答
キャリアステップ・ファーストステップについて	
<p>1 渡邊さんへ質問です。就活をする上で、JICAや国際機関ではなく、一般企業に就職しようと思った理由をお聞きたいです。また、就活中はどのような軸で企業を見ていたかもお聞きたいです。</p>	<p>(渡邊氏) 将来マーケティングや広告運用に携わりたいと思い、それらの知見・経験は一般企業で積めるものかなと考えたことが、一般企業への就職をしようと思った理由です。熱量を込めて作ったプロダクトやサービスが多くある中で、マーケティングや広告のノウハウがないために社会に広まっていかないという海外での事例を見てきました。そのことがもったいないと感じ、熱い思いで起業した人のサポートをしたいと考えました。就活の軸は、会社選びで自分がテンションが上がるかどうかを大事にしていました。忙しくてやりがいなどを見失ってしまうことがあります、テンション上がるものがあることで長く会社に貢献し続けることが可能だと思い、その軸にしていました。</p>
<p>2 河合様に質問です。一番初めの「プロボノ・副業に向いている人」の質問について、自分で動ける人、というお答えをしてらっしゃいました。しかし専門性やスキルがなく、ましてや国際協力分野での経験が全く無いとなると、どこから始めて良いかわからず、どうしても指示をしてもらわないと動けない／動きにくい部分があるかと思えます。そのような人たちに向けて、何かアドバイスをいただけますか？〇〇から始めてみたらいいのではないかと、なども非常にありがたいです。</p>	<p>(河合氏) ご質問ありがとうございます。私の説明が不十分で誤解を招いてしまい申し訳ありません。最初からすべてひとりで考えて行動してほしいということではなく、それを目指すつもりで活動してほしいという意図でした。また、専門性やスキルがないとおっしゃっていますが、社会人として何らかの仕事をされているのであれば、何かしら専門性・スキルはあるはずで、誰にでもできることだと思っていられるのかもしれませんが、まったく違う職業の人には難しいということはよくあります。入会前の面接や入会後の自己紹介で、普段仕事で具体的にどんな作業をしているのかお話を聞いてはかぎでしょうか。他のメンバーにもどんなことができる方なのか伝わってその後の活動がスムーズになるかと思えます。何から始めたら良いかは団体によりまちまちかもしれませんが、弊社では（というより私のグループでは）議事録を書いていただけるととても助かります。</p>
<p>3 河合様、渡邊様に質問です。自分の専門性を活かしてプロボノ/副業で活動できるポジションはどのように探すのがよろしいでしょうか。本業が国内のみの仕事なので、今後のキャリアアップに向けて海外での業務経験を積みたいと考えています。</p>	<p>(河合氏) 私の場合はたまたま見つけただけなので参考になるかわかりませんが、最近はほとんどの団体はインターネット上で募集しているかと思えます。いろいろな団体の募集を掲載しているサイトもありますので、そういうところで探されてはかぎでしょうか？また、面接の際には海外での業務経験を積みたいとはっきり伝えたいと思います。活動を始めてみたら国内での仕事しか任せなかったというミスマッチを防ぐことができます。</p> <p>(渡邊氏) 探し方は様々あるかと思えます。私の場合、認定NPO法人very50とは高校自体の恩師からの紹介で出会いました。この方法は稀かと思えますので、JICA様やその他海外を拠点に活動されるご自身でご存知の組織が開催するフォーラム等に参加する、SNSで情報収集をする、人材紹介サービスを利用するなどの方法が一般的かと思われます。個人的におすすめなのはSNSでの情報収集です。「海外での業務経験」と言っても今は選択肢が幅広くあるため、まずはご自身が海外でどんなことをされたいのかを考え、それに合わせて「〇〇できる団体 海外」などで調べると主要な組織が出てくるかと思えます。その組織を中心にSNSで情報を追うと、詳細情報や芋づる式に同様の活動をする団体を知ることもできます。</p>
<p>4 渡邊さんへ。就職先決定の際に仰っていた、渡邊さんが描くキャリアプランをお伺いしたいです。また、現職との出勤比率など、週単位でのスケジュールもお伺いしたいです。</p>	<p>(渡邊氏) キャリアプランについては、フォーラムの質疑応答内でもお答えしたとおり、新興国の起業家たちが熱を込めて作ったプロダクトやサービスを世に広める手助けをしたいと思っております。私はvery50での活動を通して、主にカンボジア、バングラデシュ、ベトナムの起業家と関わるが多かったのですが、ほぼ全員が共通してSNS経由での情報発信やマーケティング戦略に苦戦していました。新興国でマネタイズするとすると、どうしても対外国人（観光客など）での事業になることが多いため、SNSを介した情報発信は必須となります。私がマーケターとして戦略設計から実際の広告運用まで一貫してできるようになれば、そこを補えると考え、現在は広告代理店に勤めております。</p> <p>現職との出勤比率は、時期によっても異なりますが、現在は現職1:副業9くらいになります。週での稼働も2~3時間ほどになるよう団体側と話をしながら調整をしております。海外渡航プログラムを控えている時期は週10時間ほどの稼働時間になる場合もあります。</p>

質問	回答
働き方・関わり方について	
<p>5 渡邊様への質問です。社会人2年目で本業にもまだ慣れない時期だと思います。その上でvery50での活動が非常に充実していると感じました。どのように本業と両立させていらっしゃるのですか。有給休暇など取得しながら行っているのでしょうか。</p>	<p>(渡邊氏) 本業はコアフレックス制となっているため、少し早めに帰宅し夕方から夜にかけて作業するようにしています。また、プロジェクトで海外に帯同する場合に有給休暇を取得しています。あまり難しいことをしている感覚はなく、空いている時間を使って業務しています。</p>
<p>6 現在、家族の海外勤務の関係で海外に住んでいます。完全在宅オンライン上で関われる国際協力はあるのでしょうか。</p>	<p>(杉本氏) オンライン上ですとモチベーションを保つことが難しい場合があるため、時間をなるべく確保し積極的に関わっていただくということが前提として必要なと思います。その上で、当団体では条約制定会議の企画運営や条約制定のための事例集め・現地でのリサーチなどを行う場合もあります。その他には、ウェブサイトの設計などもオンラインで対応可能かと思います。</p> <p>(河合氏) 当団体にも海外から関わっている人が在籍しています。時差の関係でミーティングの調整などが大変になることもありますが、相談することで柔軟に対応してくれる団体も多いと思います。</p> <p>(渡邊氏) 探せばあると思います。私自身もオンライン上で業務を行っており、当団体にも海外から関わっている方も在籍しています。相談するとできることもあると思うので、まずは団体側に相談してみるのが良いと思います。</p>
<p>7 現在、46歳の社会人です。子どもの貧困に関わる社会貢献がしたいと考えています。今の仕事をしながらでも関わる方法はありますかでしょうか。</p>	<p>(杉本氏) 当法人のメンバーにも仕事をしながら関わっているメンバーが多くいます。もしご心配でしたら、まずは寄付や単発のボランティアから、もう少し活動に参加したいとなったら長期ボランティアやプロボノのような関わり方をされるとよろしいかと思います。</p> <p>また、「子どもの貧困」も様々な問題が入り組んでおり、様々なアクターが様々な関わり方をしているので、気になったものから参加してみて、より深くかかわりたいと思うものを見つけていくのがよろしいかと思います。</p> <p>(河合氏) 今の仕事をしながら、とおっしゃっているのでプロボノも視野にいれていらっしゃるものとしてお答えします。弊団体ではほとんどのメンバーが参画後も今までの仕事を続けています。仕事をつづけながらプロボノ活動をされることには何も問題はないと思います。ただ、プロボノとして活動するためにはある程度の時間をコミットする必要がありますので、もし今のお仕事がものすごく忙しいようでしたら、まずそちらを調整していただくことになりそうです。</p> <p>(渡邊氏) 方法は様々あるかと思います。形式としても副業として有償のものと、ボランティアのような無償のものがああります。</p> <p>国内外で様々な活動をしている法人や団体がございますので、ご自身で検索などされるとすぐ見つかるはずですので、認定NPO法人very50では、新興国の貧困問題解決や教育促進を目的とする社会起業家の支援も行っておりますので、ご興味があれば一度ぜひHPをご覧ください。</p>

2023 年度国際キャリアフォーラム

「SDGs を仕事にする」とは？～全3回シリーズで考える～ 第3回「多様な関わり方」

質問	回答
採用について	
<p>8 杉本さんへのご質問です。プロボノメンバと有給職員の役割の違いを教えてくださいとありがとうございます。また、プロボノメンバもコミットメントが求められますがモチベーションコントロールも工夫されている点があるのではと思います。ぜひその点もお伺いしてみたいです。</p>	<p>(杉本氏) プロボノは担当分野が1つのことが多いですが、職員は複数の分野を担当することが多いです。関わる時間も関係しているため、範囲を狭めている場合が多いです。 モチベーションコントロールについて、四半期に1回のメンバー総会で、普段疑問に感じていることや自分の業務が今後の組織方針とどのようなつながりがあるかを再認識できる場を設けています。他にも懇親会のような息抜きできる場も設けています。</p>
<p>9 現在、一般社団法人の代表をしております。みなさんに質問です。プロボノやインターンを採用する立場の質問ですが、やる気があれば・・・志があれば・・・とありましたが、実際にはどのような視点で人材の募集や選考をしていますか。</p>	<p>(杉本氏) 志望動機やどのような経験があるかを応募の段階で提出いただいています。また、履歴書のフォーマットを作っているため、団体として事前に知りたい情報を提出いただけるようにしています。</p> <p>(河合氏) 採用に関わったことはありませんが、どのようなスキルを持った人材が不足しているのかによってお断りする場合もあると思います。</p> <p>(渡邊氏) ミッション・ビジョンへの共感と事業内容への興味・関心などが大事かと思っています。</p>
経験・スキルについて	
<p>10 河合様に質問です。一般企業に就職するきっかけが、能力を高めたいからだと思いましたが、実際に働いている中で、本業で得られた知見や能力が活かされたと思われる瞬間はございますでしょうか。</p>	<p>(河合氏) ITエンジニアを本業としていますが、組織でも同じような業務を行っているため本業で得られた能力をそのまま活かされていると思います。</p>
<p>11 Very50 渡邊さんの発表の中で、得られるスキル、経験としてマーケティング基礎力を挙げておられましたが、具体的にどんな経験になるでしょうか。もちろん概要でかまいません。興味をひかれたので質問させていただきました。</p>	<p>(渡邊氏) フォーラム内では時間が限られており触れられませんが、very50が持つ教育プログラムは、大学生や高校生に問題解決をさせていくものになります。その問題解決の題材は、私たちが普段支援している新興国の社会起業家が抱えるビジネス課題です。 ビジネスにおける課題の解決をしていくために、学生たちはビジネス、特にマーケティングに必要なノウハウを学び、現地でそれを実践していきます。そのノウハウは、いわゆるコンサルティングで使用されるフレームワークや分析で、ターゲットの分析、市場調査・分析、改善施策の提案、プロトタイプ作成まで一貫して行います。私たちはそれらを学生たちにレクチャーしたり、壁打ち相手としてフィードバックをしたりするため、まず自身がそれらを勉強する必要があります。 そのため、very50での副業では一般的に言われるマーケティング基礎力をつけることが可能です。もちろん、マーケティングに関係のない副業もございまして、もしご興味があれば一度HPをご覧ください。</p>
組織・団体について	
<p>12 杉本様への質問です。アクセプトインターナショナルの財源についてお伺いしたいです。また、NPOでの活動のみで生活できるのかについても</p>	<p>(杉本氏) 2022年度実績では寄付64.2%、委託・助成金31.8%、啓発啓蒙イベント等の収益3.3%、会費0.6%、雑収入0.1%となっています。ニーズが非常に高いにもかかわらず誰にもできない課題への取り組みを強化するためには、特に寄付などのきわめて独立性の高い自主財源の拡大が欠かせません。 弊法人の有給職員の中でも一人暮らしをしている者が多くいますので、可能かとは思いますが。</p>

※当日いただいた質問から一部抜粋して回答しております。